

KASHIWARA
市議会だより

3月議会概要

平成29年第1回定例会は2月16日から3月9日までの22日間の会期で開かれました。
議案32件、請願1件を慎重に審議しました。

耐震化が予定されている国分寺大橋



国分寺大橋修繕工事

平成32年度完成予定、総工事費約5億円の国分寺大橋修繕工事。初年度となる今年度は1億2,300万円の予算計上がされ、審議の結果可決した。

国道25号から府道本堂高井田線に接続する橋梁の修繕工事である。国から50%の補助金を獲得されているが、府の補助金の獲得はない。議会からは、府市連携の交渉を積極的に実施するよう要望した。

道路新設改良工事

今年度は、平成15年に策定された「柏原市交通バリアフリー構想」に基づき、継続事業である信貴太平寺線と上市法善寺線のそれぞれの道路整備事業の主な予算として計上された。議会からは、産業の発展及び防災、緊急道路としての整備が図られるよう、本市の将来的な広域道路網計画をもとに国道などの幹線へ接続できるよう要望した。

学校普通教室に空調整備

堅下北中学校普通教室への空調整備予算（平成28年度補正予算）と、残る5中学校普通教室への設計業務委託料（平成29年度予算）が計上され、それぞれ審議した。議会からは一年でも早く実施し、小学校についても前倒しで取り組まれるよう要望した。

サンヒル柏原施設管理費

現在、市が施設の管理をしており、その維持管理費として計上したもので、主なものとしては、光熱水費及び本年7月に再開を予定しているプールの水道代、修繕料等である。

今後サンヒル柏原をどのように運用していくのか、市民の関心も高いので、できるだけ速やかに方針を決めるように要望した。

議員定数削減

議員定数を現行の17人から1減の16人とする議員定数条例の一部改正を全会一致で可決した。任期満了に伴う今秋の市議選から適用する。

国民健康保険事業

平成30年度から、安定的な国保運営をする為、都道府県へと広域化。

大阪府が示す標準保険料率で決定される。現行12回払いが10回払いに変わる。

制度変更に伴い市民が混乱しないよう、しっかりと説明していくように要望した。

恩智川多目的遊水地事業

文化財調査の後も整備費用が発生する。市の財政状況も厳しいものがあり、今後ジェイテクト社宅跡地購入や学校空調設備の整備など教育関連予算全体も鑑みながら、知恵を絞り、少しでも負担の軽減が図れるよう要望した。

病院は？

プールは？

大丈夫？

がんばれ病院

問 柏原病院の医業収益

について伺う。

答 平成26年度に比べて

平成27年度は3億890

0万円入院収益の増収。

平成27年4月から内科救

急を拡大、入院患者数が

増加したことが要因であ

る。平成27年度は加算取

得により約1100万円

増収である。

平成28年度は2800

万円増収を見込んでいる。



1階に設置されたATM

市政クラブ

外来も平成27年度は

1800万円増収である。

医業収益は増加している

が医業費用も増加してい

るので費用削減に向けて

努力をする。平成29年度

は緩和ケア病棟開設で増

収を見込み、医業費用の

削減で経常収支の均衡に

向け努力する。

問 12月議会で要望した

ATM設置とカード支払

いについて伺う。

答 ATMは2月から設

置した。カード支払いも

検討中である。

要望 ATM設置は多く

の要望があった。カード

での支払いも早急にお願

いする。

経費削減やLEDへの

見直し、人間ドック受け

入れ拡大など努力してい

ただいている。緩和ケア

病棟開設見込みも増収に

なることを期待する。ま

た12月に要望したコンビ

ニ開設も、現在の状況も

理解しているので、充実

を望む。経費の見直しの

努力と共に患者さんの利

便性も考えていただき、

満足度の高い病院を目標

に努力をお願いする。

どうなる今年の夏

問 サンヒルスポーツセ

ンター条例制定の経緯及

び今後の見通しを伺う。

答 サンヒル柏原の庭球

場と現在休止をしている

プールの開催を教育委員

会が所管して欲しいと市

長から提案があった。

両施設を市民のスポー

ツ振興と健康増進等に寄

与する社会体育施設とし

て教育委員会が管理運営

することを教育委員会会

議で決定。条例を制定し、

その後、早急に指定管理

者の募集を行い、指定管

理は7月1日開始、プー

ルは7月20日からの再開

を予定している。

問 1年間休んだプール

が再開されるのは喜ばれ

ると思う。市としても多

くの利用を望んでいると

思う。近隣プールとの料

金比較はどうか伺う。

答 大人900円、小人500円

で、市民が近隣プールを

利用する場合よりも低く

設定している。

要望 昨年香芝市のプー

ルに行かれた方も多かつ



7月20日に再開予定のサンヒルプール

たので心配していた。香

芝市より安いのでぜひ地

元で利用してほしい。ま

た市外の利用者増のため

にも魅力のあるサンヒル

プールの特色を考えてい

ただくことと、多くの入

に周知できるようにPR

をお願いする。

税金は市民のために

副市長は1人

問 2人の副市長の必要性について伺う。

答 市長の市政運営をサポートする役目を負い、2名の体制で事業のきめ細やかな精査や再構築を行うことは、重要かつ不可欠であるため。

要望 柏原市は人口約7万人。大阪府内には、33の市がある。そのうち人口が10万人に満たない市は、11市あり、貝塚・高石市を除けば、副市長は1人だけである。また、人口14万人の守口市でも、人口12万人の大東・松原市でも副市長は1人だけである。これが

日本共産党



今の大阪府内の自治体の状況である。人件費からみると、副市長1人分の人件費は平成28年度では、約1324万円であった。4年間の任期を務め退職すれば、約900万円の退職金が支給される。果たして、今の柏原市に副市長が2人も必要であろうか。副市長2人分の人件費が計上されていることは、問題であり、1人にすべきである。

子どもを大切に

問 かしわらっ子はぐくみテストを民間教育産業に委託し、小学校1年生から6年生までの全児童に実施する必要性について伺う。

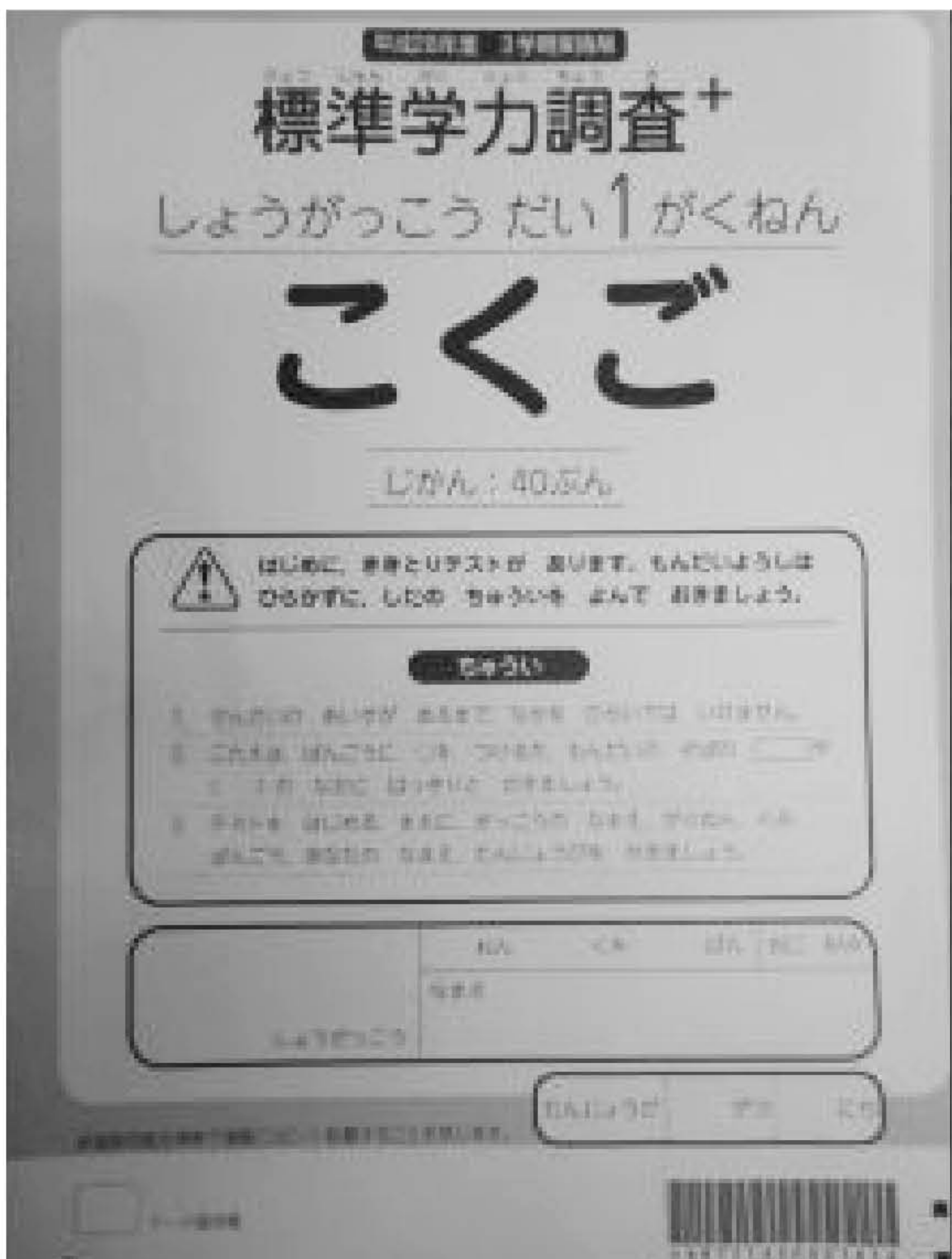
答 児童の学習到達度を調査し、その結果から学校の取り組みについての検証・教育活動の工夫改善を図るため。

要望 各学年別に国語と算数の統一テストを実施するため、民間の教育産業にテスト作りから採点までの業務を委託し、実施された。目的をお聞きすると、当初の全国学力テストの目的と同じ答弁である。同テストの平均点が、各市町村でランク付けがされている。この

平均点をもって、柏原市の教育委員会会議で大阪府内の平均点と比較して、「柏原市も点数を上げるべき」という発言がされている。かしわらっ子はぐくみテストが本来の目的であることを期待するが、一つ間違えれば、かしわらっ子はぐくみテストが、各小学校単位、各クラスの点数が明らかにになり、現場の教師は、比較され、教師の多忙化に拍車をかけることになる。今年初めて実施されたが1年生の国語は13ページ、算数は15ページもあり、日頃のテストと比

べかけ離れすぎている。子どもの中には、「もう、無理、わからん」と言っ

て教室から出ていったケースや泣いてしまった子どももいた。「勉強・学校嫌いの子どもを増やさないでください。現在学校に行くことが出来なくなり、一番苦しんでいる、心の中で葛藤している児童とその家族のことを思ってください。」の声を受け止めよ。



かしわらっ子はぐくみテスト

柏原市の今後の財政運営

柏原かがやきの会

問 市長改選により骨格

予算でありながら総額約

250億円、財政調整基金が

らの繰入金が2億円と

なっているが、予算の内

容について伺う。

答 新規事業・政策的経

費は含まず、人件費、扶

助費、公債費などの「義

務的経費」は133億円で歳

出の約53%を占め、負担

金などで55億円、188億円

で全体の75%を超える。

「経常的な経費」を加え

て総額が約250億円となっ

ており、4年前の骨格予

算と比べると「社会保障

経費」などの増により約

19億円の増となっている。

問 歳出がふえている事

は理解できるが、歳入は

どうなっているか伺う。

答 市税は伸び悩んでお

り、前年度より減となる

費目が多く、非常に厳しい

状況である。

問 今予算でも2億円を

財政調整基金から繰り入

れる予定であり、残高が

約16億7千万円であるが

これで十分な残高と言え

るのか伺う。

答 一般的に、標準財政

規模の10%が適正水準と

言われており、本市では

15億円程度あれば適正と

言える。しかし、残高の

内9億7千万円は庁舎建

設基金を廃止し、病院に

繰入れた残であるので実

質的には7億円程度の残

高であり十分な額ではな

いと考えている。

問 では、本市の基金の

残高は他市町村と比べて

どうなのか伺う。

答 平成27年度決算で、

大阪府内43市町村中で34

位、全国790市の中で695位

であり、いずれも少ない

ことを示している。

問 5年後には34億円の

財源不足が見込まれてい

るが今後の見通しはどう

なっているのか伺う。

答 平成27年度、28年度

はクリアできる見込みで

あり、残りの3年間で計

画面上解消しなければなら

ない財源不足額は約21億

円となる。今後も一年一

る事により、財源不足は

解消できると考えている。

問 臨時財政対策債も累

積額が130億円もあり、こ

の対策債は国の都合で始

まったものと聞いている

が財源補償はしてもらっ

ているのか伺う。

答 元利償還金の100%が

交付税算入されている。

要望 交付税算入されて

いるといっても実態は全

くわからない。他の起債

残高に比べこの対策債が

非常に多いため、国にも

対策を要望しないといけ

ないと思う。

既存の事務事業の見直

しやスクラップアンドビ

ルドの徹底を図り、一丸

となって行財政改革に取

り組んでいただき健全な

財政運営をお願いする。



新しい財源で、 『かしわら力』 の発揮を

公明党

新電力導入の効果

問 平成28年12月1日から新電力の供給が開始されているが、平成28年度の当初予算と比較してどうか伺う。

答 導入する27施設の合計電気代は、平成28年度当初予算113,390千円に対し、平成29年度当初予算では、81,009千円と、32,381千円の減となり、この金額に近い削減効果が期待できる。

問 他に全庁一体の取り組みはあるのか伺う。

答 ガス自由化や契約電力50誌未満の施設への新電力導入などを考えてい



要望 市立柏原病院でも

新電力の導入を要望する。

また、照明器具のLED

化を研究するなど、財

源を生み出す流れを作っ

て欲しい。

一度で受診可能に

問 がん検診受診率向上に向けた取組について伺う。

答 乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診は、個別検診も実施。特に大腸がん検診は、平成27年6月から市内医療機関で個別検診を開始し、受診率は7.6%から10.9%に向上した。検診重点受診勧奨者へ、ハガキによる個別勧奨も行っている。

問 課題と対策について伺う。

答 集団検診では、1日の受診枠に制限があり、個別検診では、市内医療機関の検診体制や医療機器の整備等の課題がある。そこで、平成29年度から、大阪がん循環器

病予防センターと委託契約を締結した。平日なら

5つのがん検診を一度に受ける事が可能となる。

問 大阪がん循環器病予防センターでの検診の流れについて伺う。

答 まずは保健センターに連絡。確認後案内等の必要書類を送付。本人が直接予約する。

要望 市民の方へ大阪がん循環器病予防センターでの受診方法の周知徹底を要望する。

学校司書が増員

問 学校司書賃金の増額について伺う。

答 2年間で積みあげて

きた学校図書館の情報セ

ンター、学習センター、

読書センター機能をより

充実させる為、1名増員

し他の中学校区にも広げたいと考えている。

問 学校司書活用計画について伺う。

答 「第2次柏原市子ども読書活動推進計画」の策定をすすめる。公立図書館司書、司書教諭等と相談・協力・連携できる体制を作り、読書活動を下支えしていく。

要望 読解力は学力向上の根っこになる。国分地域へも配置を要望する。



「豊かな学校生活を」

英語が小学校で教科

問 幼小中一貫教育推進

事業の見通しについて伺う。

答 本年度11年目となる。

新たな節目を迎えており、

「柏原の幼小中一貫教育」

(柏原スタンダード)を

つくっていく。具体的に

は、義務教育学校への移

行も視野に入れ、柏原市

で統一した外国語教育

(以下英語とする。)を

行っていきたいと考える。

これに伴い、これまでの

小中一貫推進教員の一部

を英語教育推進教員とし

て明確に打ち立て配置す

る。

今後、これからの時代

政新会

に即応した教育活動を推進する。

問 学習指導要領改訂

(平成32年度)に向けて、

市の幼小中一貫教育推進

事業の英語について伺う。

答 小学校3年生から週

1時間、教科としての英

語は5年生から週2時間

の授業時間が設定されて

いる。そこで、平成29年

度から、現在の一貫教育

推進教員の内5名を英語

教育推進教員と位置づけ、

各中学校区への配置を考

えている。具体的には、

5名の英語推進教員と教

育委員会、中学校の英語

教員の代表及び有識者と

で英語教育推進委員会を

立ち上げ、課題を共有し、

指導内容を設定する。今

後の英語教育の推進に努

め、平成32年度の新学習

指導要領の完全実施に向

けて取り組む。

要望 公教育として全て

の児童生徒がきちんと英

語を学べるよう、しっか

りとした教授法を確立し

ていただくようお願いす

る。

クーラー整備事業

問 平成28年度補正予算

の中学校施設整備事業に

ついて伺う。

答 堅下北中学校の普通

教室等11教室への空調設

備の設置工事にかかる工

事請負費である。堅下北

中学校への空調設備を設

置する理由は、市内6中

学校の中でキュービクル

式高圧受電設備の老朽化

や弱体化により、最も早

期に設備改修を必要とし

ていることから、先行実

施するものである。

問 整備スケジュールに

ついて伺う。

答 平成29年度の夏休み

期間に空調設備の設置工

事の実施を予定している。

また、キュービクル式高

圧受電設備の改修工事に

については、受注生産とな

るため製造に一定期間の

日数を要するとともに設

置時には3日程度の停電

期間を設ける必要がある。

学校現場と協議し日程調

整する。

要望 可能な限り早期に

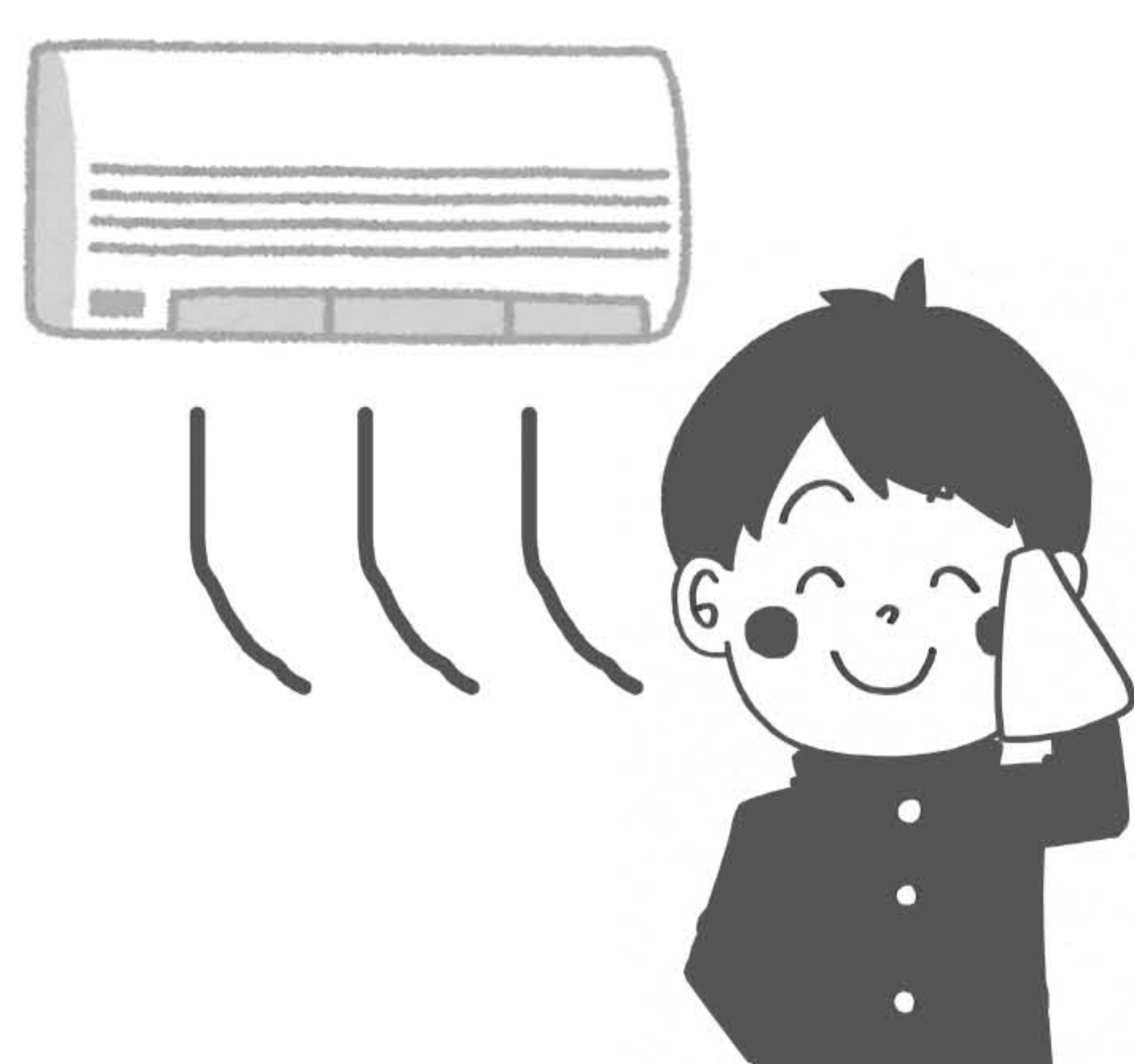
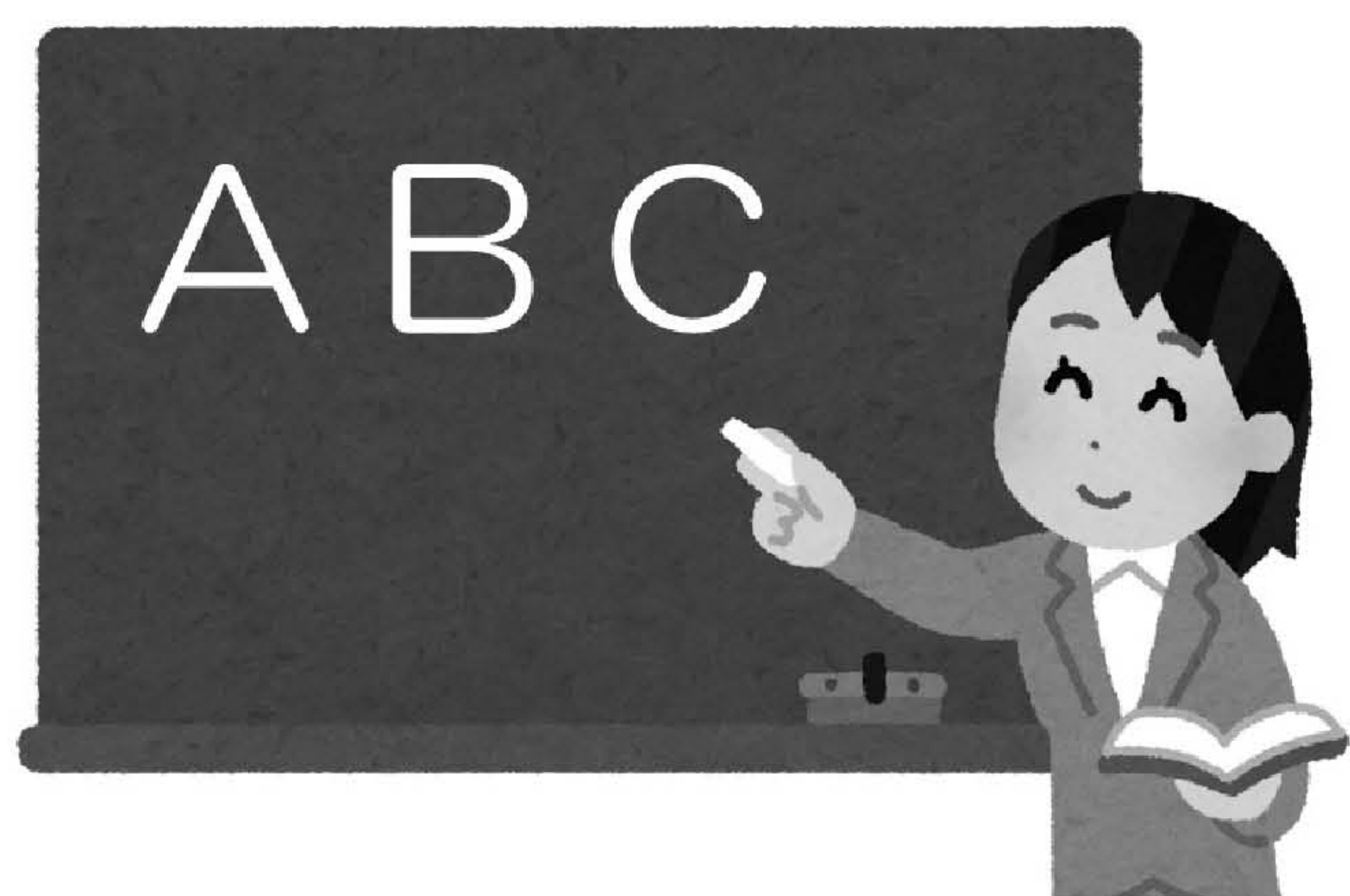
完工していただき、生徒

たちが、少しでも早く使

用でき快適に学校生活を

送ることができるように

お願いする。



第1回定例会で賛否が分かれた議案

議案 番号	議 案 名	採 決	柏原かがやきの会					公 明 党			日本共産党		市政クラブ		政新会		個人
			大坪 教孝	寺田 悦久	奥山 渉	乾 一	中野 広也	新屋 広子	小谷 直哉	中村 保治	山本 真見	橋本 満夫	岸野 友美子	鶴田 将良	田中 秀昭	山下 亜緯子	山口 由華
議 1 号	平成29年度柏原市一般会計予算に対する組み替えを求める動議	否 決	議長	×	×	×	×	×	×	×	○	○ ^討	×	×	×	×	×
議 1 号	平成29年度柏原市一般会計予算	可 決		○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議 5 号	平成29年度柏原市後期高齢者医療事業特別会計予算	可 決		○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議22号	訴えの提起について	可 決		○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○

全会一致で可決・承認した議案

議案 番号	議 案 名	議案 番号	議 案 名
選 1 号	八尾市柏原市火葬場組合議会議員の補欠選挙について	議14号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について
選 2 号	柏羽藤環境事業組合議会議員の補欠選挙について	議15号	柏原市市税条例等の一部改正について
選 3 号	藤井寺市柏原市学校給食組合議会議員の補欠選挙について	議16号	柏原市ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正について
報 1 号	専決第1号 平成28年度柏原市一般会計補正予算（第7号）	議17号	柏原市国民健康保険条例の一部改正について
議 2 号	平成29年度柏原市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算	議18号	柏原市立サンヒルスポーツセンター条例の制定について
議 3 号	平成29年度柏原市国民健康保険事業特別会計（施設勘定堅上診療所）予算	議19号	平成28年度柏原市一般会計補正予算（第8号）
議 4 号	平成29年度柏原市介護保険事業特別会計予算	議20号	平成28年度柏原市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）
議 6 号	平成29年度柏原市市立柏原病院事業会計予算	議21号	平成28年度柏原市国民健康保険事業特別会計（施設勘定堅上診療所）補正予算（第1号）
議 7 号	平成29年度柏原市水道事業会計予算	議23号	特別職の職員の給料月額及び退職手当の額の特例に関する条例の一部改正について
議 8 号	平成29年度柏原市下水道事業会計予算	議24号	柏原市国民健康保険条例の一部改正について
議 9 号	市道の路線認定及び廃止について	議25号	平成28年度柏原市一般会計補正予算（第9号）
議10号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	議提1号	柏原市議会議員定数条例の一部改正について
議11号	執行機関の附属機関に関する条例の一部改正について	議提2号	議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について
議12号	柏原市個人情報保護条例の一部改正について	決議1号	放課後児童会の時間延長を求める決議
議13号	柏原市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	請28-1号	放課後児童会保育施策充実を求める請願

第1回臨時会（3月24日）で全会一致で可決した議案

議案 番号	議 案 名	議案 番号	議 案 名
議26号	副市長の選任につき同意を求めることについて	議27号	平成28年度柏原市一般会計補正予算（第10号）

- ・議長は全ての議案に対し賛否を表明しません。（可否同数の場合は除く）
- ・会派に属さない議員は「個人」と表記しています。
- ・討論を行った議員は「討」と表記しています。
- ・賛成の場合は「○」、退席の場合「－」と表記しています。

※定例会での議案審議、委員会審査、討論についての
詳細な内容につきましては、ユーチューブにて動画
でご覧いただけます。

<https://m.youtube.com/channel/UCrAnocOLDr-4rQjJxximcbg>



新議員を紹介します

さる、2月12日に実施されました
柏原市議会議員補欠選挙において、
寺田悦久議員が当選されました。



放課後児童会の時間延長を求める決議

平成27年8月に女性活躍推進法が成立し、その基本原則の中に、「職業生活と家庭生活との両立を図るために必要な環境の整備により、職業生活と家庭生活との円滑かつ継続的な両立を可能にすること。」とあります。

今私たちが考えなければならないのは、女性を含む働く親全体をいかに支えていくのか、またそれをどのような方法で行っていくのか、ということではないかと思います。

本会議、委員会では、安全に放課後児童会を運営するための人材確保や保護者負担金の問題、さらには人件費、空調設備も含めた経費などの財源の問題等もあることが指摘されておりました。

これら困難な課題もあることは充分承知しておりますが、女性活躍推進法の趣旨や、時代が移り変わりゆく中で、働く全ての親のライフスタイルを市や議会全体で考え、支援していくことは私たちの責務であると考えます。

柏原市議会としても、本決議がその一助となり、ひいては働く親にとって柏原市が「住みよいまち」となることを願ってやみません。

以上のことから、次の実現を強く求めます。

1. 放課後児童会の開会時間を午前8時から午後7時とすること。
以上決議する。

平成29年2月16日

大阪府柏原市議会

第2回定例会 6月1日から6月30日まで（予定）

日	月	火	水	木	金	土
				1 本会議	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16 本会議	17
18	19 本会議	20 本会議	21 本会議	22	23 総務文教委員会	24
25	26 市民福祉委員会	27 建設産業委員会	28	29	30 本会議	

- ※ 会議は午前10時から始まります。
- ※ 日程は、変更する場合があります。